

高橋好子 特別展

～いのちの根源を求めて～

期 間 10月8日(土)～15日(土)
会 場 学校法人共育の森学園 旧小樽短大校舎内
小樽市入船4-9-1
時 間 午前10時～午後5時 *費用 無料



「空」2009

高橋好子さんのミニ講演 「作品にこめた思い」

10月13日(木) 14:00～15:00

参加の方は前もってお申し込みください。(茶菓&資料代300円)

<高橋好子さん略歴>

- 1927 小樽市色内町に生まれる
- 1943 庁立小樽高等女学校卒業
*以後市内小中学校で教鞭をとる
- 1949 道展初入選
- 1959 道展会員に推挙される
- 1965 札幌市で個展開催
*小樽市、札幌市で個展複数回
*企画展、絵画展にも数多く出品
- 2005 小樽美術館主催
「小樽の女流たち」に出品
- 2007 小樽美術館主催
「高橋好子展」に出品



「高橋好子画集」2007 発行

主催：「聖ヶ丘ギャラリー」実行委員会

後援：北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部、NPO 法人余市教育福祉村、FM おたる、
NPO 法人北海道自由が丘学園、学校法人共育の森学園、小樽市、小樽市教育委員会、
朝日新聞社小樽支局、北海道新聞社小樽支社、読売新聞小樽支局、毎日新聞社小樽支局
連絡先 / 学校法人 共育の森学園 本部事務局

小樽市入船4丁目9番1号 0134-27-4600 (代表)

～ 同時開催 ～

山、空、海～小樽近郊の風景



小樽在住の写真愛好家 **佐藤聖一写真展**



自主上映会

日時:2011年11月5日(土)

会場:共育の森学園講堂(旧小樽短大)

(小樽市入船4丁目9-1)

費用:参加費 1,000円

- ・ 受付 13:00 ~
- ・ 上映 13:30 ~ 14:50
- ・ 交流 14:55 ~ 15:40

【太田 堯 プロフィール】

教育研究者。東京大学名誉教授、都留文科大学名誉教授。日本子どもを守る会会長、日本教育学会会長などを歴任。専攻は教育史、教育哲学。93歳の現在も、講演や執筆にエネルギーを取り組んでいる。広島県出身。

主な著作「かすかな光へと歩む」(一ツ橋書房)、「教育の探求」(東大出版会)、「教育とは何か」(岩波し新書)、「地域の中で教育を問う」(新評論)、「子从天からの授かりもの」(太郎次郎社)

大田堯「かすかな光へ」上映 小樽実行委員会

共催:北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部、(学)共育の森学園

後援:FMおたる、NPO 法人余市教育福祉村、NPO 法人北海道自由が丘学園

連絡先 同友会支部:0134-25-9191、 日本ノドキュメンタリー)
共育の森学園 0134-27-4600

<実行委員会からのメッセージより>

…先生は、人間の生存権、その生きる権利の不可欠な要素ともいべき「学ぶ権利」(学習権)を根本的なものと考えておられます。この「学ぶ」ということは、生命そのものの特徴であり、生物は外的な刺激に敏速に反応する力を学習によって獲得してきたと考えられます。人間の子どもは、自然とふれあい、仲間と一緒に遊ぶことによって、そして家族のなかでいろいろな手伝いをしたり、一定の役割を果たしたりして大きくなっていくのが当たり前だったのに、現在、子どもたちは自然から切り離され、仲間と遊ぶことよりもゲーム機などでの孤独な遊びに入ってしまう、また家のなかで働く役割もなくなってしまっている、と言われます。このような状態を、子どもは二重に失業させられているのだ、と指摘されています。

ところで、今の学校での教育はどうなっているでしょうか…学校が人間篩い分けの仕組みになり、競争の場となってしまったら、人間の基本的な人権としての生存権、その中に必然的に含まれる学習権の保障といったことは、見失われてしまいます。

自然からの隔離、大人からの隔離(労働からの隔離)、そして仲間からの隔離に加えて、テスト競争・点数序列の教育によって、真の科学や学問の習得からの隔離の状態におかれている子どもたちを、どう救うか、これが大田先生の多面的な活動を促す根本問題なのです…

(呼掛け人:鈴木 秀一)



【蔵書紹介】No. 38

こんな本もあります



わたしの茶の間 沢村貞子著 1982 光文社

近代絵画 小林秀雄著 1968 新潮文庫

考えるヒント 小林秀雄著 1974 文春文庫

エンピツ画の風景 安西水丸著 1993 日本文芸社

ドラえもん秘密 世田谷ドラえもん研究会著 1993 データハウス

図書閲覧・館外帯出および検索について

図書閲覧について

- ・図書閲覧は開館時間とします。
- ・利用者は係員に身分証等を提示ください。
- ・開架式ですが、一度書架から出した図書は自分で戻さず、必ずカウンター係員に返却ください。

貸出し（館外帯出）について

- ・貴重図書、辞書類、重要資料、その他館長の指定した図書は帯出できません。

（ 展示中の新着図書、定期刊行物のバックナンバー、レファレンスブック、新聞、官報、各大学の紀要類、も同様です。 ）

詳しくは係に確認ください。

貸出し（館外帯出）期間について

資料の種類 貸出し期間 冊数

一般図書 一週間 3冊

返却について

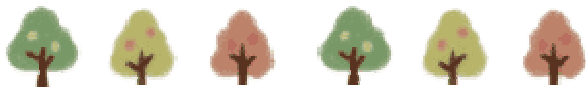
- ・平日（月～金 10:00～17:00）に返却できます。
- ・図書館員不在の時は事務室へお越しください。

従来通り小樽市民のみなさまがご利用できます。

はじめて利用されるときに利用手続きをします。

専門書のほかにも英米文学や日本文学、美術など一般図書があります。

読書会や句会などで使用できる研修室があります。



= 開館日と開館時間 =

10月・11月 2011

日	月	火	水	木	金	土
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
9/25	26	27 開館	28 開館	29	30	10/1
2	3	4 開館	5 開館	6	7	8 ←
9	10	11 開館	12 開館	13	14	15
16	17	18 開館	19 開館	20	21	22
23	24	25 開館	26 開館	27	28	29
30	31	11/1 開館	2 開館	3	4	5
6	7	8 開館	9 開館	10	11	12
13	14	15 開館	16 開館	17	18	19
20	21	22 開館	23 閉館	24	25	26
27	28	29 開館	30 開館	12/1	2	3

（ ←→ 絵画展開催期間 ）
（ 映画上映会 ）

開館日 火曜・水曜

開館時間 10:00～15:00